

東京大学とDPI日本会議の連携協定がもたらすもの

インクルーシブ教育の未来と今と



参加費無料
要申込み

先着240名様
託児・親子室・懇親会
あります(別途申込)

第一部 講演
14:00~15:20

「インクルーシブ教育の未来」

小国 喜弘 氏 東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター長

第二部 対談
15:30~17:00

「今、目の前の子どもに最善を尽くすために」

小国 喜弘 氏 篠村 利恵 氏 春日市立須玖小学校教諭 松本 学 氏 福岡市教育委員会発達教育センター所長

日時会場

2024年1月6日(土) 14:00~17:00 [受付開始13:30 / 開会14:00]
ふくふくホール 福岡市中央区荒戸3-3-39
福岡市市民福祉プラザ

講演会・対談
懇親会申込



託児

先着15名まで
時間:13:40~終了直後まで
託児料:お子様一人につき1,000円



懇親会
先着20名様

会場
博多区下川端2-1
博多座地下B2
御膳屋菴離
会費
5,500円(当日徴収)

お申込み

FAXにて申込みの場合 092-985-7911 下記を記入の上、FAXを送信ください

・お名前・ご住所・当日連絡の取れる電話番号
・障がい本人、家族、職業など(保育士、小学校特別支援学級教諭、放課後等デイサービス支援員など)
・自由記述
あなたが嬉しいことや困っていること・質問したいこと・インクルーシブ教育に関して思うこと
などあればお書きください(全てのご質問にお答えできかねることをご了承ください)

主催・お問合せ

認定NPO法人 障がい者より良い暮らしネット

福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ4F

mail: yoriyoikurasi@gmail.com TEL:090-7392-1000 FAX:092-985-7033

後援

福岡市教育委員会 春日市教育委員会
福岡市障がい者差別をなくす会
西日本新聞社 朝日新聞社
毎日新聞社 読売新聞社

東京大学とDPI日本会議の連携協定がもたらすもの

インクルーシブ教育の未来と今と

第1部
講演

インクルーシブ教育の未来

2023年8月、東京大学大学院教育学研究科とDPI日本会議は、フルインクルーシブ教育事業に関する連携協定を結びました。学術組織と障害者団体が互いの強みを生かしながら協力して、国連権利条約が目指すインクルーシブ教育を広げる大きなうねりをつくり、究極的には障害の有無によって分け隔てることのない共生社会の実現を目指す大きな転機となることと期待します。その連携に深く関わられた小国喜弘氏にインクルーシブ教育についてご講演いただきます。※DPI日本会議:障害種別を超えた当事者団体。1986年発足、約91団体が加盟



小国 喜弘 氏 東京大学大学院教育学研究科附属
バリアフリー教育開発研究センター長

1966年、兵庫県に生まれる。東京大学文学部国史学科卒業後、東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)。成城大学専任講師、東京都立大学准教授、早稲田大学教育学部教授を経て、現職。著書に、『戦後教育のなかの<国民>』(吉川弘文館)、『戦後教育史』(中公新書)。編著書に、『障害児の共生教育運動』(東京大学出版会)、『みんなの学校』をつくるために:特別支援教育を問い直す』(小学館)など。

第2部
対談

今、目の前の子どもに最善を尽くすために

今、地域の通常学級や支援学級、特別支援学校に、障がいのある子どもたちは通学しています。本人と家族が選択したその場所ので、現場の先生たちの元で学び、友だちをつくり、豊かに成長しています。一方で、学校での不適切な対応により心に傷を負う子どもが少なくないことも相談現場から報告されています。教育環境の厳しさが言われる昨今、現場の先生方は多くの努力をしながらも、ご苦労・ご心労も多いことと想像します。そんな中でも今を生きている子どもたちの楽しく健やかな学びのために、大人たちは何ができるのか三人に語り合ってください。

<対談者ご紹介>



篠村 利恵 氏 1969年 福岡市生まれ。小学校教諭 学校心理士

30年前、特別支援学級担任として初めて教壇に立ち「そのとき感じ、学んだことが今の教師としての自分を支えている」のだそうです。それ以来、試行錯誤を繰り返しながら、交流学級担任、特別支援学級担任、特別支援コーディネーターと、違う立場で障がいのある子どもたちと向き合ってきました。「障がいの有無に関わらず、どの子にも得意なこと、苦手なことはある」という目標で、「支え合い、認め合う集団作り」一粒一粒が個としての存在をしっかりと、もとの上で「ぎゅっ」とにぎられているようなおむすび集団、そんな集団作りを目指し、日々奮闘...されています。家庭では高3の双子のお母さん。



松本 学 氏 福岡市教育委員会発達教育センター所長

平成4年、福岡市小呂小学校に採用され勤務されたのち、自ら特別支援教育を希望し福岡中央養護学校、今津特別支援学校で教諭として知的・肢体不自由児の子どもたちの教育に努められました。その後現場を離れ福岡市教育委員会発達教育センターの指導主事、今津特別支援学校と若久特別支援学校で教頭、発達教育センターの指導係長のち、生の松原特別支援学校の校長を経て、現在、発達教育センター所長として障がい児教育・インクルーシブ教育の最前線で指揮を執っておられます。